

今回は 夏休みに行われた関ジモト大学 の報告(その25・26)です。

◇ オンラインセミナー「関ジモト大学2021 online」

今年度は、昨年度に引き続きオンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOぶうめらん」が主催する「関ジモト大学online」の場をお借りして、関市内の45企業と各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞き、生徒が意見交換を行いました。

◇ 企業紹介

【有限会社 コバヤシヒーティング】

高純度雰囲気ガス環境ならではの光輝熱処理で表面を美しく処理し、電気制御による精密な温度管理で硬度を均一に仕上げる品質の良いワークを生産します。創業20年で培った独自のノウハウを活かし、ステンレス製品を小ロットから大量生産まで素早く対応致します。

【HP】 <http://www.hamonogatari.jp/index.html>



◇ 関ジモト大学を受けて 生徒の感想

・今まで刃物が有名なのだといった感じで詳しいことは知らなかったけど、今回の話を聞いて、地域によって刃物にも特徴があり、時代によって形を変えて人々の生活に関わっていると知ることができた。最初の方に歴史の話が出てきて興味が湧いてきたから自分でもっと調べたい。

・小林さんは、「将来進学したときに地元のことを話せると、より仲良くなれる」と話されました。今回関の、なぜ刃物が特産品になったのかについて詳しく知ることができました。小林さんの「コロナでお土産用の商品の売り上げは減りましたが、止まっているだけでは衰えていく」と次々と新アイデアを出している姿が素敵だと感じました。アイデアの出し方を聞くと「固定観念に囚われずに考え続けること」と教えていただきました。私はせっかちでなにかを続けることが苦手ですが、物事の理由を考えながら生活することから始めてみようと思います。

・この講義を通じて、話の中の関市の伝統文化の刃物の産業の形が時代に合わせて変わってきたということがとても面白いなと感じました。

・関市は刃物が有名ということはよくわかっていたつもりでしたが、蓋を開けてみると知らないことが多くて、刃物の奥深さを知りました。自分の町を知るためにも調べたいと思いました。

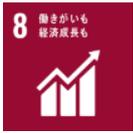
◇ 企業紹介

【株式会社 マルサ研磨巧業】

マルサ研磨巧業は、昭和46年の創業当時から、包丁研磨に特化し続けてきました。長年受け継がれてきた、手作業だからこそできる伝統技術を大切に、職人が一本一本丁寧に包丁を仕上げてきました。

【HP】 <http://marusa-kenma.com>



SDGs	取組中			
------	-----	---	---	---

◇ 関ジモト大学を受けて 生徒の感想

・ここでは包丁の研磨を主に取り扱っていて、実際に作られている場所を見ると、多くの機械がありました。実際にどのように研ぐのかは前から知っていたのですが、実際に研ぐ姿を見ると大変だろうと思いました。関は刃物で有名であり、作っている人の熱意を今日感じる事が出来ました

・いま職人が高齢化してきていると聞き、このような文化は引き継いで継承すべき伝統だと再認識出来ました。手順を間違えずに行えば安全だということを知ったので、僕も実際に研いだりしてみたいと思いました。

・関市の伝統である刃物について世界一切れる包丁を目指して、日々技術向上に取り組んでいるところは、仕事に向かう姿勢として参考にしたいと思った。週休2日を実現するために機械を用いて時間効率をあげ、販売単価を上げるなどして他社製品との差別化を図っているところはマーケティング戦略として興味深いと思った。

・包丁について色々なことを知ることができました。自分が思っていたよりもたくさんの手間をかけて作られていました。また、レンタルスペースを開放して、美濃の活性化にも取り組んでいることを知って、自分にも何かできることをしたいと思いました。働いている人はやりがいを持って楽しく仕事をしていたので、自分もやりがいを持ってできる仕事を探したいと思います。

・包丁の研磨を見せてくださりありがとうございました。包丁の種類については初めて聞き、貴重な体験になりました。法人化することでどうして跡継ぎを育成することになるのか聞きそびれましたが、おそらく資金が関係すると考えています。また、どうして職人さん達が週休2日制を取れなかったりするのかも知れたので、安いものは自動で作ってあるものばかり考えないようにしていきたいです。

・肉、野菜等それぞれに適した包丁があり、その包丁を研ぐための機械はパートさんでも扱えるようになってる事に驚きました。普段僕たちが見ている包丁がこんなに手間がかかっているものだと知って驚きました。また、SDGsの活動を、人を喜ばせるために行っていると話されていて

凄いと思いました。何気ないものをよく知ることができて面白かったです。

・主に包丁を研磨する会社ですが、社長さんが美濃市のうだつの町でレンタルスペースの貸し出しをしています。地元美濃市の活性化のためだとおっしゃっていました。とても地元思いの人だと感じました。あまり知らなかった職人の世界が知れて楽しかったです。

・マルサ研磨巧業さんでは、SDGs だからやるとかそういうことではなくて、根本には人を喜ばせるということがあるという考え方で、人が喜ぶモノづくりという、これまで大切にやってきたことをこれからもやっていくことが SDGs につながっていくと仰っていてとてもカッコいいと思った。また、週休2日で長期休暇もあるということでこれは職人さんの中では多いほうらしいです。しっかりと職人さんを思いやった職場であることも素晴らしいなと思いました。

・今まで知らなかった包丁の作られる工程などを聞いた。早川巧業さんと同様に会社外での活動をしていてすみよいまちづくりの目標に貢献していた。働いている人にこの仕事をするきっかけとなったことについて SNS で知ったことや子供の頃やっていたことだったからなどの話を聞いて将来仕事に就く時のためにいい話を聞いた。

・僕は、包丁を普段使うことがないですが、マルサ研磨さんの講座で包丁の種類や、包丁の作り方などを知ることができました。講座の中で一番印象に残っていることは、「自己流は事故る」というように言われていた事です。僕はその通りだなと思ったので、この言葉をしっかりと覚えておきます。